

つた。

調査の結果によれば甚しい沈下の割合に龜裂が目立たぬのは、鐵筋挿入、施工の丁寧等による所多きは勿論なるも、軟弱地盤と雖も殆ど一樣なる軟弱度を有する此地方の地盤の特性によるものの如く思はれる。

昭和7年度の區間に比較的多くの龜裂があるが、其の大部分は横目地の交互なるによるものである。

昭和12年度工事に於ては改築後相當の自然輾壓を受けたるを以て、既往の結果に鑑み路面を鋤取り、整形し軽く輾壓したる後、砂敷したる上にコンクリート舗装を行つた。又目地材には現場製のアスファルト・モルタル板を用ひた。工事は12年末に竣工し以來數月に過ぎず、其の結果は豫知し難きも概して良好の様である。

B-6 防空上より觀たる都市計畫

會 工 武 居 高 四 郎

(京都帝國大學教授)

1) 緒言 都市防衛は何時の時代に於ても重要視されたが兵器の改良進歩によつて多大の變化を來し、最近航空機の發達に伴つて、防空は都市計畫上特に重要事となつた。木造家屋が大部分を占める我國都市にあつては尙更その重要性を増すもので新時代の都市計畫は防空的である事を必要とする。

2) 空襲の目的と對象物 現時並に將來の戦争では宣戰布告は空襲爆撃によつて行はれ、軍事、政治、經濟上の中心を一舉にして爆破し、抗戰能力並に抗戰意識を撃破すると共に後方を擾亂して敵國民の戰意を喪失させる。斯くして大都市並に工業都市は空襲の最上對象物となる。

3) 都市防空の對策 空襲の對策としては1. 軍の積極的防空と2. 民間の消極的防空とに分れる

4) 積極的防空施設 は防空陣地の配置、防空陣地の連絡、通信機關の防護等敵機の撃破に對する軍の施設にして、

5) 民間の消極的防空は 燈火管制、防火、防毒、救護、避難等所謂防空訓練を包含するが單に空襲時の應急的對策のみでは不充分で防空的都市の要求に適應して計畫され建設されてあらねばならぬ。

6) 防空的都市の要求 は 1. 都市の容易に發見されぬこと 2. 爆彈命中率少きこと 3. 耐彈構造で爆彈、焼夷彈、瓦斯彈の被害を少なからしめる構造であること 4. 生命の保護、避難を容易ならしめる施設を充實すること、等である。

7) 防空都市の形態と發展様式 空中より容易に發見されず、爆撃せられても其の被害の最も

少く、都市活動の害されることの最小なる形態と發展様式が肝要である。

8〕防空的建設施設 飛行場、道路、鐵道、港灣、水路、地下鐵道、公園、綠地等の諸施設は被害の程度並に活動能力を喪失することの最小なること、

9〕防空的建築物 建築物に防火的な事を最も肝要とするが防毒に好都合な配置とし、都心地、工場地の被害を少なからしめる様分散させ、尙避難室、防護室、防空壕の施設をする。

10〕公共的施設 電氣、水道、瓦斯、電信、電話、石油タンク等公共的施設は分散して被害を少なからしめ且相互の連絡を圖つて融通性を有せしめる。

11〕防空施設の促進策と結論 防空上の要求はその大部分は社會的、衛生的及び技術的理由による一般的要求と一致するもので、分散的都市發達によつて其の目的を達成出来るが防火、防毒の施設と相俟つて、居住者の生命保護と國民の文化的經濟的價值を維持することにある。

B-7 函館市の復興事業に就て

會 工 神 尾 守 次

(北海道廳總務部都市計畫係技師)

昭和9年3月21日より22日に亘つての大風災に伴ふ函館市の大火災に其の焼失面積約126萬坪、焼失戸數24,186戸、罹災人口124,558人、死者2,054人に及び函館市の大半を灰燼に歸せしめ、火災史としても關東大震災に依る東京、横濱に次ぐ大災害であつた。

函館市は昭和10年の大火災後の國勢調査人口に依るも、戸數39,000餘戸、人口207,400餘人であつて本道第一の大都市であつて、北洋漁業の策源地として又國際的海産市場として榮へ又近來水産物加工工業の發展に伴ひ日本有數の水産都市たるの本質に鑑み前途洋々たるものがある。

此の如く産業に恵まれ且つ風光明媚の本市も津輕海峡深く突入せる岬に位せる爲、毎秒10米以上の強風が年平均143回に及ぶのであつて、其の爲に明治以來でも20數回の大火災に見舞はれて居つたもので、今次の火災害を機會に根本的に焼けざる都市建設を主眼として復興に着手したのである。

街路は、火災前一般に狹隘であつた爲に延焼を早からしめ、死焼者も増大した事とて幅員を根本的に増大する事とし、單に一般交通を安全ならしめるばかりで無く、特に災害豫防及び避難を容易ならしめる事に意を用ひ交通街路としては幹線は25m乃至27mとなし、場末の補助街路も8m以上の幅員とした。又木造橋梁の破壞又は焼失の爲人命を損ふ事が多かつたのに鑑み、橋梁は全部不燃質とした。

次に防火を目的とし3個の公園(その面積5.3「ヘクタール」)と共に36m及び55mを標準